

令和3年度広島県温暖化対策活動促進補助金 一般事業 採択団体一覧表

事業実施 主体（所在地）	私はストーブだ！inひろしま （府中市）	特定非営利活動法人 三段峡 - 太田川流域研究会 （安芸太田町）	廿日市市公衆衛生推進協議会 （廿日市市）
事業名	省エネ冷暖房システムを誰でも簡単&安価に作るための研究と実践 —化石燃料に頼らない方法の普及啓発—	なくそうフードロス！！ つながり学ぶ、ベランダ・コンポスト啓発事業	廿日市地区脱温暖化対策活動事業
目的 事業目的 （温暖化対策に寄与する取組か）	薪ストーブや地中熱を利用した冷暖房システムを簡単かつ安価に作る方法を調査研究し、その導入を広く普及啓発することで、二酸化炭素の排出削減を推進する。	温室効果ガスの大きな原因の一つである食品ロスの課題解決のため、ベランダ・コンポストを活用した食品ロス削減の啓発を行い、環境に配慮したライフスタイルの実現を目指す。	廿日市地域において、地球温暖化について学習し、それぞれが温暖化対策活動を実践する。
事業概要 事業内容・事業の計画性 （活動内容・対象に新たな広がりがあるか）	【1年目・2年目】 冷暖房システムを安価かつ簡単に作る方法の調査研究及び情報発信 【3年目】 安価かつ簡単な冷暖房システムの普及啓発	【1年目】 身近にできる取組、ベランダ・コンポストの普及 【2年目】 食品ロスや食に関係する課題を地球温暖化の視点から考え、実践する 【3年目】 ベランダ・コンポストによる活動事例を広島県内に広く発信する	【1年目】 地球温暖化について学ぶ 【2年目】 温暖化について理解を深め実践する 【3年目】 温暖化対策を地域外に広める
事業期間	令和3年度～5年度	令和3年度～5年度	令和3年度～5年度
補助事業終了後の実施計画	・冷暖房システムの普及啓発活動 ・ソーラーヒーターの研究開発&普及活動	・啓発冊子等の活用や、コンポストづくりや野菜作りの継続を通じて、広く食品ロス等に係る温室効果ガスの課題について発信 ・小学校や飲食店等と協力し、コンポストを活用した環境教育の実施	・各種イベントにおいて、パンフレットや啓発教材を使って広く温暖化対策の実践方法を啓発
効果 温暖化対策効果 （目標値は妥当か）	42.4t-CO2（令和3～5年度） イベント参加者が実際に冷暖房システムを導入したと仮定した場合の削減を見込む。	37,400kg-CO2（令和3～5年度） ・講座参加世帯が食品ロス量を50%削減すると仮定した場合の削減を見込む。	7,680kg-CO2（令和3～5年） ・冷蔵庫温度調節の啓発による削減を見込む
その他効果 地域普及性 （他の地域への普及、情報発信）	・SNS等の発信により、イベント参加者以外にも広く周知	・冊子配布や動画配信による食品ロスの課題への啓発 ・視察受け入れによる波及	・啓発チラシの配布により、広く啓発
事業運営費 事業の確実性 （経費の積算・使途は適切か） （補助対象額のみ）	【1年目】 177千円 （原材料費、物品購入費） 【2年目】 100千円 （原材料費） 【3年目】 410千円 （イベント講師謝金・旅費、会場借り上げ費）	【1年目】 500千円 （講師旅費、動画・教材作成、資材購入費） 【2年目】 500千円 （講師旅費、動画作成、資材購入費） 【3年目】 500千円 （講師旅費、啓発冊子作成、資材購入費）	【1年目】 396千円 （講師謝金、バス代、啓発教材作成費） 【2年目】 245千円 （講師謝金、啓発教材作成費） 【3年目】 245千円 （講師謝金、啓発教材作成費）
実施体制 事業の確実性	任意団体（広島県温暖化防止推進員1名所属）	法人	自治会等

事業実施 主体（所在地）	大竹市（市民生活部環境整備課） （大竹市）	門田地球温暖化対策協議会 （尾道市）
事業名	環境学習事業	門田川を楽しもう！ホテルの里のビオトープ作り
目的 事業目的 （温暖化対策に寄与する取組か）	地球温暖化について学び、市民や生徒・児童が自分たちができる温暖化対策活動を考え実践し、発信してもらう	ホテルの里ビオトープ作りを通して環境に対する保護意識を高め、それによってCO2削減に向けての積極的、持続的な行動に結びつく事を目指す
事業概要 事業内容・事業の計画性 （活動内容・対象に新たな広がりがあるか）	【1年目】 地球温暖化について学習する 【2年目】 市民による温暖化対策活動を考え、実践する 【3年目】 児童・生徒が自ら温暖化対策活動について考え、発信する	【1年目】 ビオトープ作りに向けて学習会を行い、地域における地球温暖化の原因を認識する。 【2年目】 実際にビオトープを作り、自然環境保全活動を行うことで、自分たちができる地球温暖化について考え、実践を促す。
事業期間	令和3年度～5年度	令和3年度～4年度
補助事業終了後の実施計画	・作成した啓発冊子等を活用し、市内外に広く温暖化対策の実践方法を啓発 ・市民団体の取組として温暖化対策教室の実施を根付かせ、持続的な啓発活動を実施してもらう ・市内の児童・生徒による温暖化対策の学習・啓発の取組を継続し、特にコイ・こいフェスティバルや大竹会館祭り等のイベントで啓発ブースを設置し、広い世代に対し発信する取組を補助する	・ホテルの見える場所に作るビオトープを中心に、地域の人々や子どもたちと一緒に自然に親しみ、環境意識を高める場所として様々な企画を継続し、活動の広がりを図る
効果 温暖化対策効果 （目標値は妥当か）	420,700kg-CO2（令和3～5年度） 参加者がクールビズ、エコドライブ、食品ロス削減などの取組を実践したと仮定した場合の削減を見込む。	26,970kg-CO2（令和3～4年度） 学習会等の参加者等が冷暖房等の使い方の見直しをしたと仮定した場合の削減を見込む。
その他効果 地域普及性 （他の地域への普及、情報発信）	啓発冊子等による市内全域への啓発 児童生徒への啓発により、家庭へも実践活動が波及	門田町内だけでなく、他地域にも小学校を通じて活動の募集や報告を行い、啓発する
事業運営費 事業の確実性 （経費の積算・使途は適切か） （補助対象額のみ）	【1年目】 500千円（学習会講師謝金、施設見学バス代等） 【2年目】 495千円（学習会講師謝金、施設見学バス代等） 【3年目】 500千円（啓発冊子作成、学習会講師謝金等）	【1年目】 78千円（ビオトープ作成費、資料作成費等） 【2年目】 100千円（ビオトープ作成費、資料作成費等）
実施体制 事業の確実性	市町	温暖化対策協議会